

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福山通運(株)りんくう流通センター	階数	地上4F
建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来北	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年6月20日
敷地面積	6,770 m ²	作成者	五洋建設株式会社 本社一級建築士
建築面積	3,162 m ²	確認日	2023年6月20日
延床面積	12,204 m ²	確認者	五洋建設株式会社 本社一級建築士事務所樋口明宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>敷地内に適切な量の駐車スペースを設けている。エントランス周辺や隣境界部に緑地を設けるなど周辺環境に配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材は、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の設置。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水便器 節水水栓を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>建物利用者の為の適切な量の駐車場を確保している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0075

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)福山通運(株)りんくう流通センター計画					
	建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来北					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		